

令和7年度第2回国有林モニターアンケート（結果概要）

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様のご意見やご感想を適確に把握し、それらを反映した管理経営を推進するための取組の一つとして、国有林モニター制度を設けています。

この度、令和8年1月に、令和7年度第2回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

今回アンケートにご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

○アンケートの実施概要

発送 : 令和8年1月14日
回答期限 : 令和8年2月6日
回答率 : 72% (47人中34人)

回答者の内訳

	男性	女性	計
～29歳	2	0	2
30～39歳	3	0	3
40～49歳	4	5	9
50～59歳	1	4	5
60歳以上	7	8	15
計	17	17	34

国有林モニター制度とは、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、広報やパンフレットで情報提供を行うとともに、アンケートの実施やモニター会議の開催等を通じて意見を伺うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

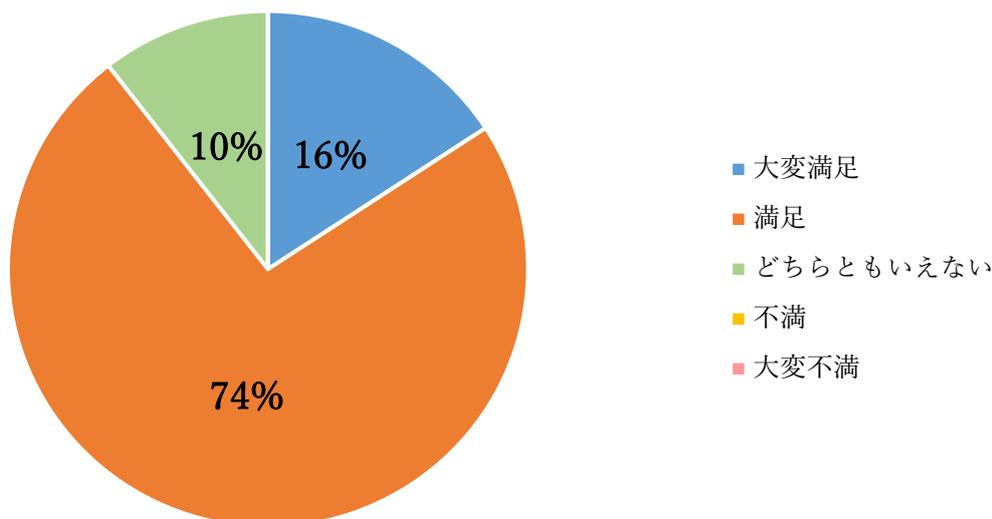
現在、令和6年4月～令和8年3月の2年間を任期として、管内5県の47名の方に国有林モニターとして活動していただいております。

1 モニター会議について（参加者のみ）

令和8年1月14日に令和7年度国有林モニター会議を開催し、22名の方にご参加いただきました。

（1）モニター会議の内容について教えてください。

①会議内容



【理由】

大変満足

- ・緊張すると思ったが、少人数と司会担当の方の進行により話しやすかった。それにモニターの使命感も高く、分かりやすい会議だった。
- ・グループディスカッションで他の参加者の様々な意見が聞けた。
- ・他のモニターの方々から多くの林野行政に対する認識を学ぶことができた。

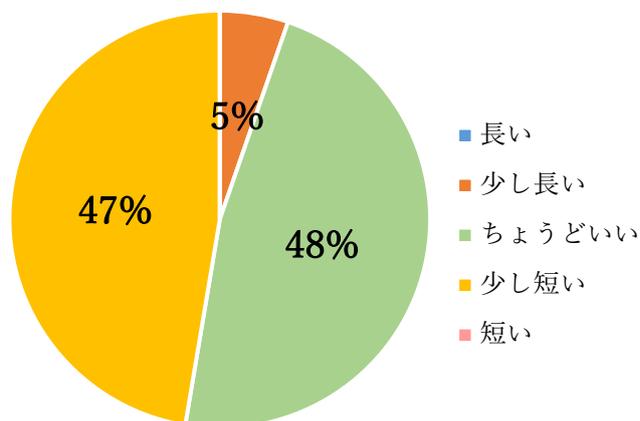
満足

- ・内容は良かったが、後半時間が足りなくなり、モニターの意見が全部聞けなかったのが残念だった。
- ・グループディスカッションの内容が現実に即していて、林野庁・森林管理局の存在、活動をいかに知ってもらおうかということを深く考えることができた。また、モニターの多くが森林・山に関わる生活・仕事をしていることを知り、そのような生活様式もあるのだと考えさせられた。
- ・意見交換の時間が十分にあり、モニター同士で納得いくまで話し合えた。
- ・様々な視点からの意見を聴くことができ、とても有意義な会議であった。もう少し時間があれば、もっと中身の深い会議であったと思わず残念。
- ・色々と活動の振り返りをしたほか、国有林の課題について話すことができ、大変良かった。

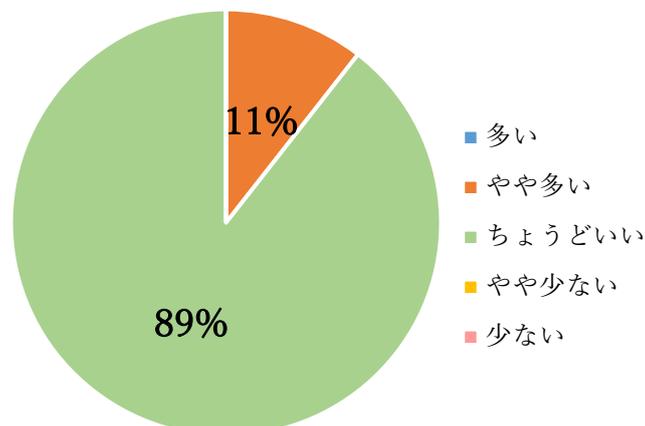
どちらともいえない

- ・ 遠方から遥々集まって会議をするにとしては、内容が薄いように感じた。
- ・ 誰を対象にPRしたいのかなど、議題の論点が分かりにくかった。

②会議時間



③配布資料



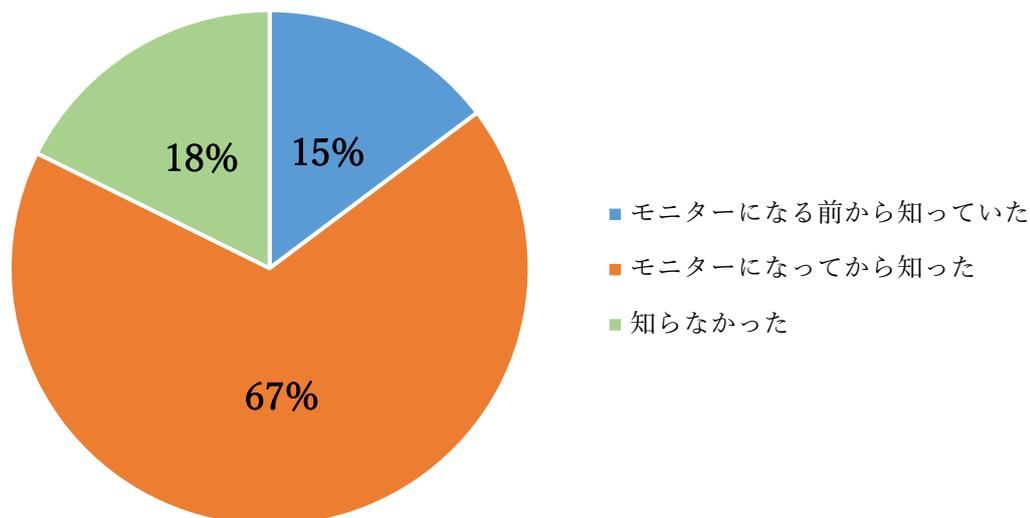
(2) モニター会議に対するご意見・ご感想。

- ・ グループワークだと意見が出しやすく、参加者同士や職員との距離が縮まり、良かったと思う。新しい『ファン』を増やすためには、山に詳しくない一般の人がモニターに占める割合がもう少し高いほうがいいのではないかと感じた。
- ・ 森林に関する資格があることを初めて知り、具体的に知りたいと思った。
- ・ このような会議を、任期中にもう1回くらいあれば良かったと思う。
- ・ 意見を長く話す人もいたため、時間があと一時間あればよかった。
- ・ ディスカッション形式はいいと思った。また、広報について、SNSの現状を確認して出してもらったことも良かった。
- ・ 一方的な報告とは違い、皆さんの意見が聞けたことはとても良かった。参加者の意識にはばらつきがあるのだと感じた。
- ・ 新幹線運休となり帰路変更。会議会場が秋田であるのなら、オンラインでの開催など含め、開催時期や方法の検討をお願いしたい。また、東北各地からの集合で移動時間もあるが、会議の開始時間がもう少し早ければとも思った。
- ・ ディスカッションのやり方次第では、より活発な意見発表ができるのにも思った。
- ・ モニター会議やアンケートで出た意見等が今後の施策に反映されたり、予算措置がされた場合の実績なども周知していけば、モニターも活動のやりがいを感じるのではないかと。

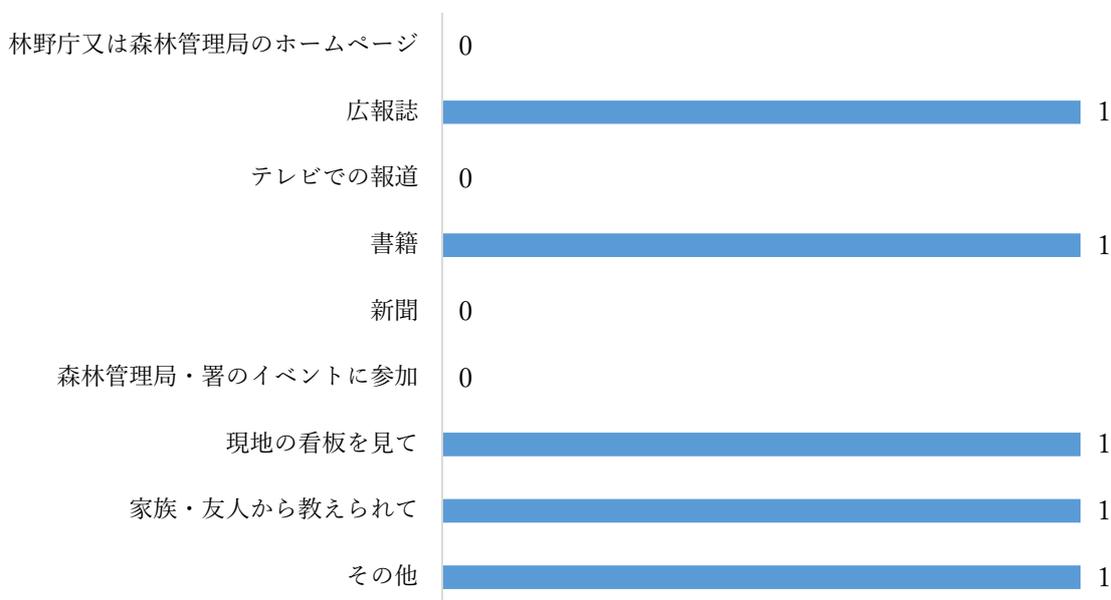
2 国有林内にある観光資源の活用について

(1) 東北森林管理局は、豊かな自然環境を積極的に活用するため、東北の国有林の中から美しい森林や山岳、溪谷、湖沼などの景勝地及び野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」として選定し、国民の保健・文化・教育的利用に広く提供しています。

① 「レクリエーションの森」について、知っていましたか。



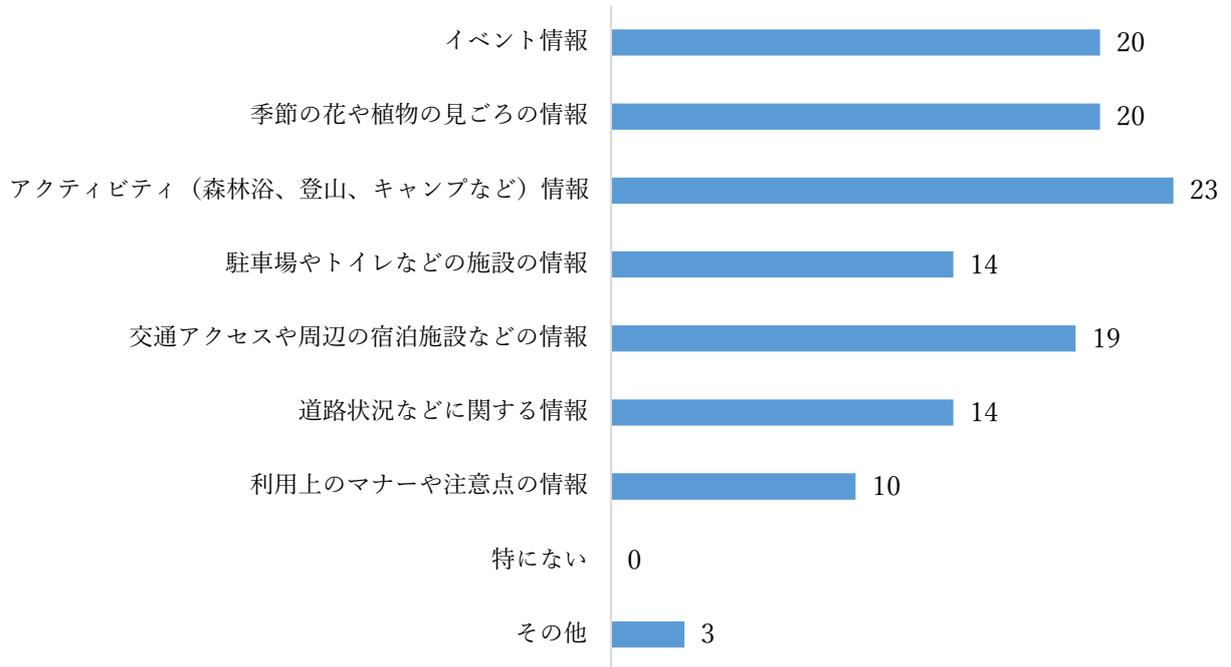
② ①で「モニターになる前から知っていた」と回答した方は、「レクリエーションの森」をどのようにして知りましたか。



【その他】

・職場のレクリエーション参加募集があったときに知った。

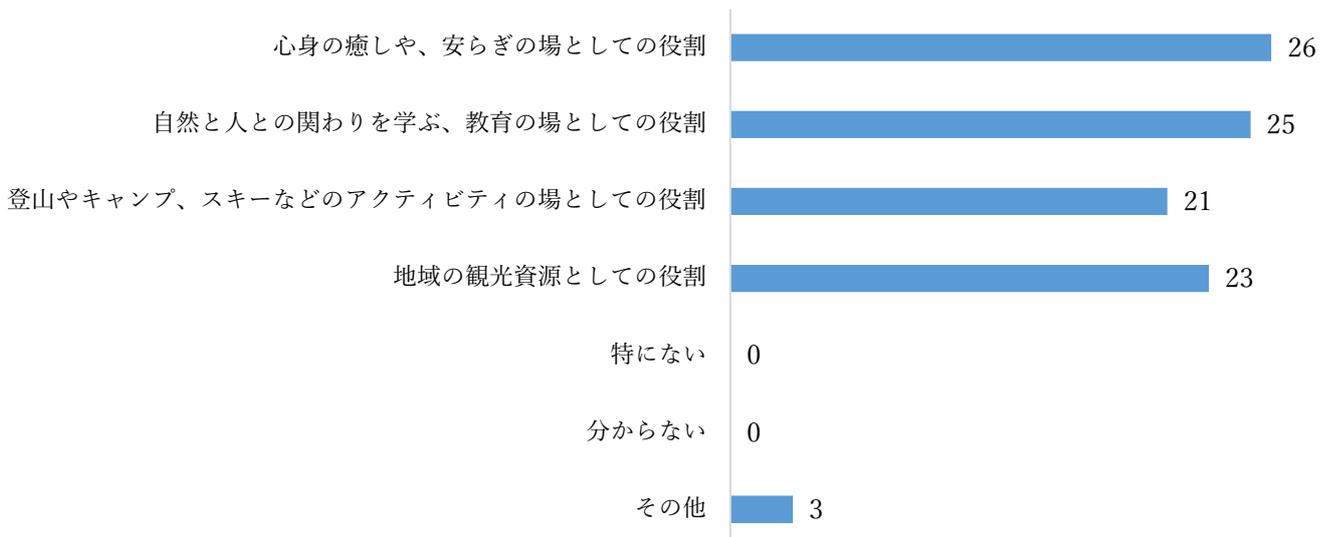
③ 「レクリエーションの森」に関して、どのような情報を期待しますか。(複数回答)



【その他】

- ・ 森林浴を楽しんだ人たちの声が聴きたい。
- ・ 熊出没情報。
- ・ 全国のレクリエーションの森の紹介。

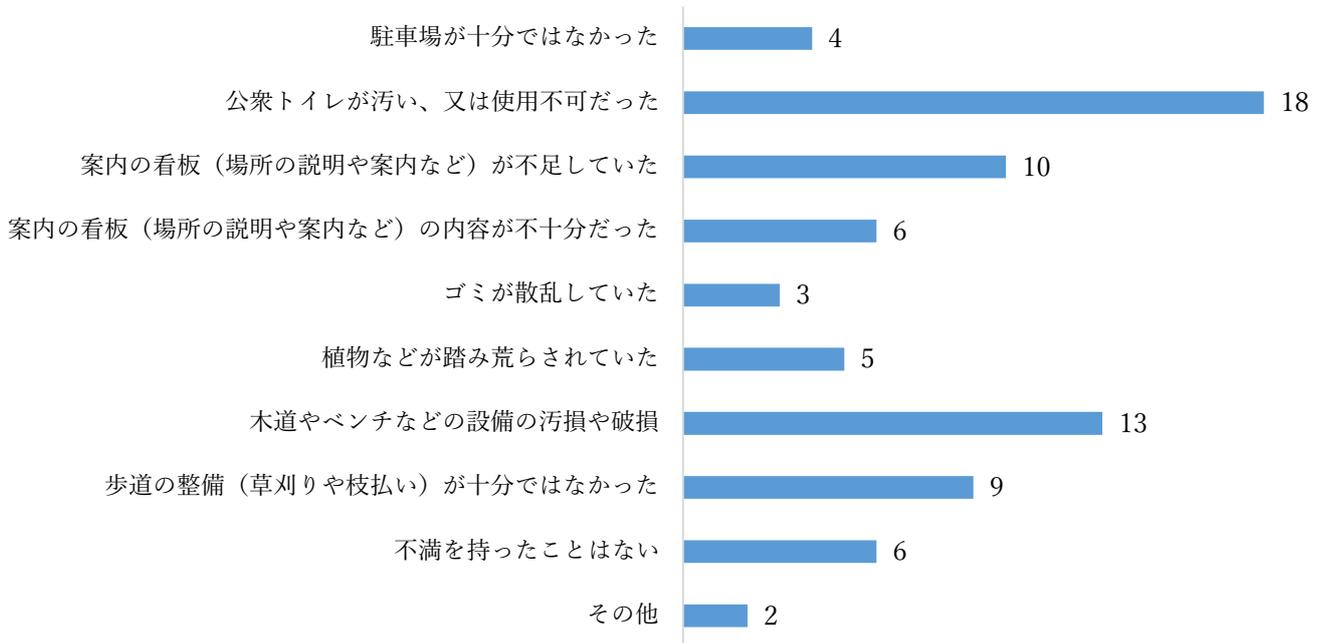
④ 「レクリエーションの森」の役割として、何を期待しますか。(複数回答)



【その他】

- ・ 首都圏からの人の往来を期待（ハイキング、森林浴目的）。
- ・ フリースクールの人たちなどの活動の場。
- ・ 安全対策。

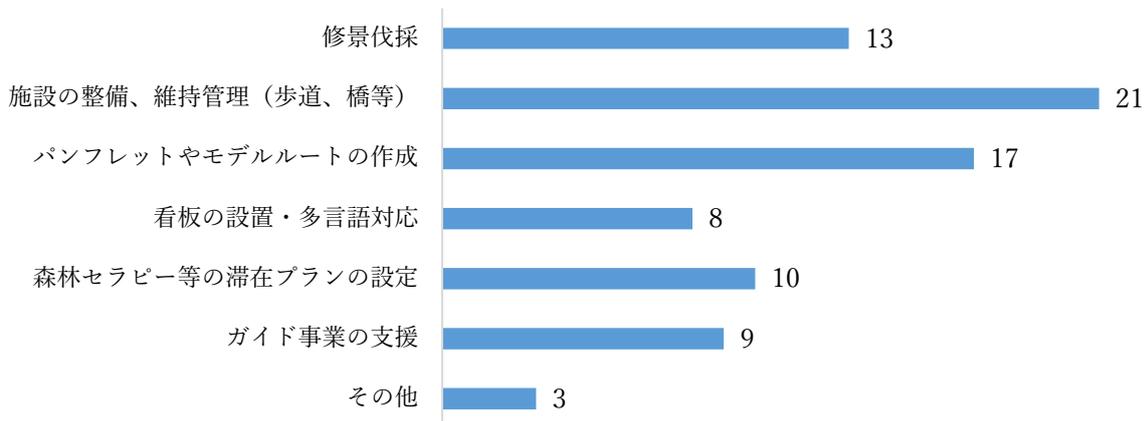
⑤「レクリエーションの森」に限らず、レクリエーションで森林に出掛けた際に、どのような不満を持ったことがありますか。(複数回答)



【その他】

- ・犬を散歩させている人がいるが、生態系に影響がないのか気になっている。歩道が狭いところでは危険を感じたことがある。
- ・レクリエーションで森林に出かけることが殆どない。

⑥「レクリエーションの森」を今後一層観光資源として利用していただくために、どのような取組が重要だと思いますか。(複数回答)

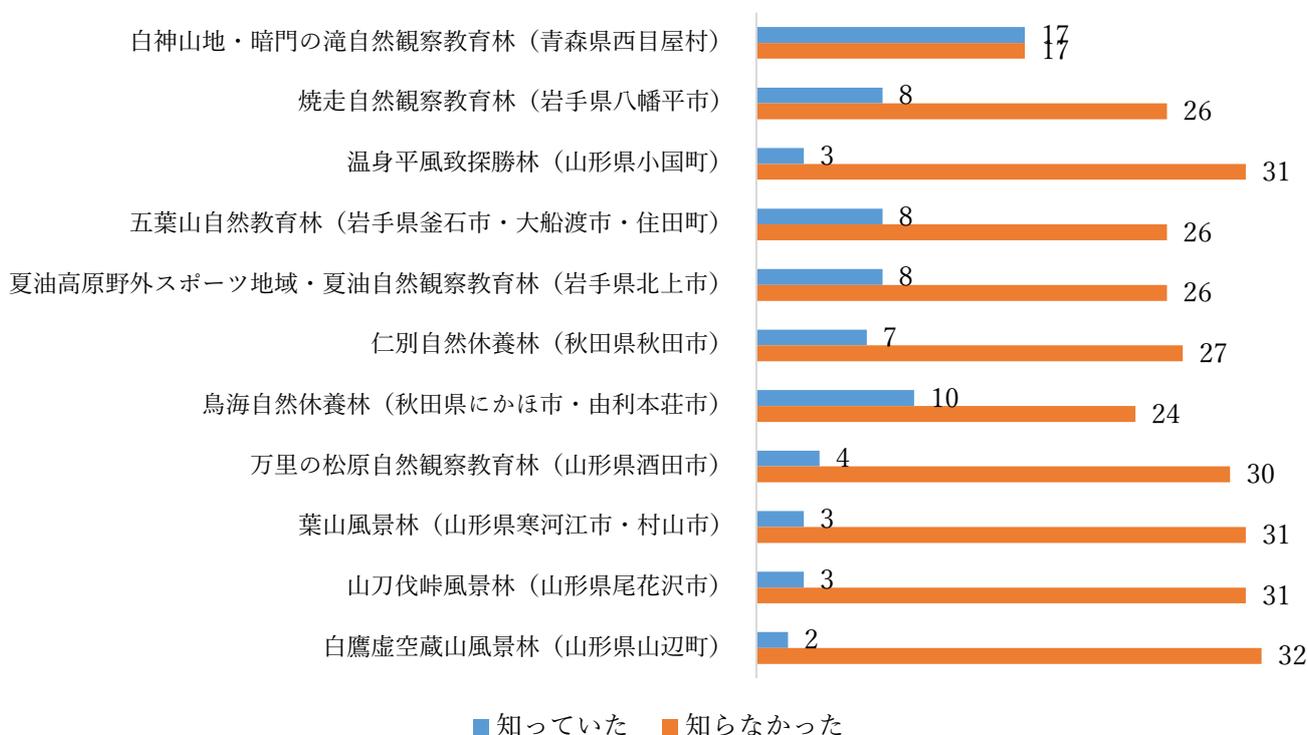


【その他】

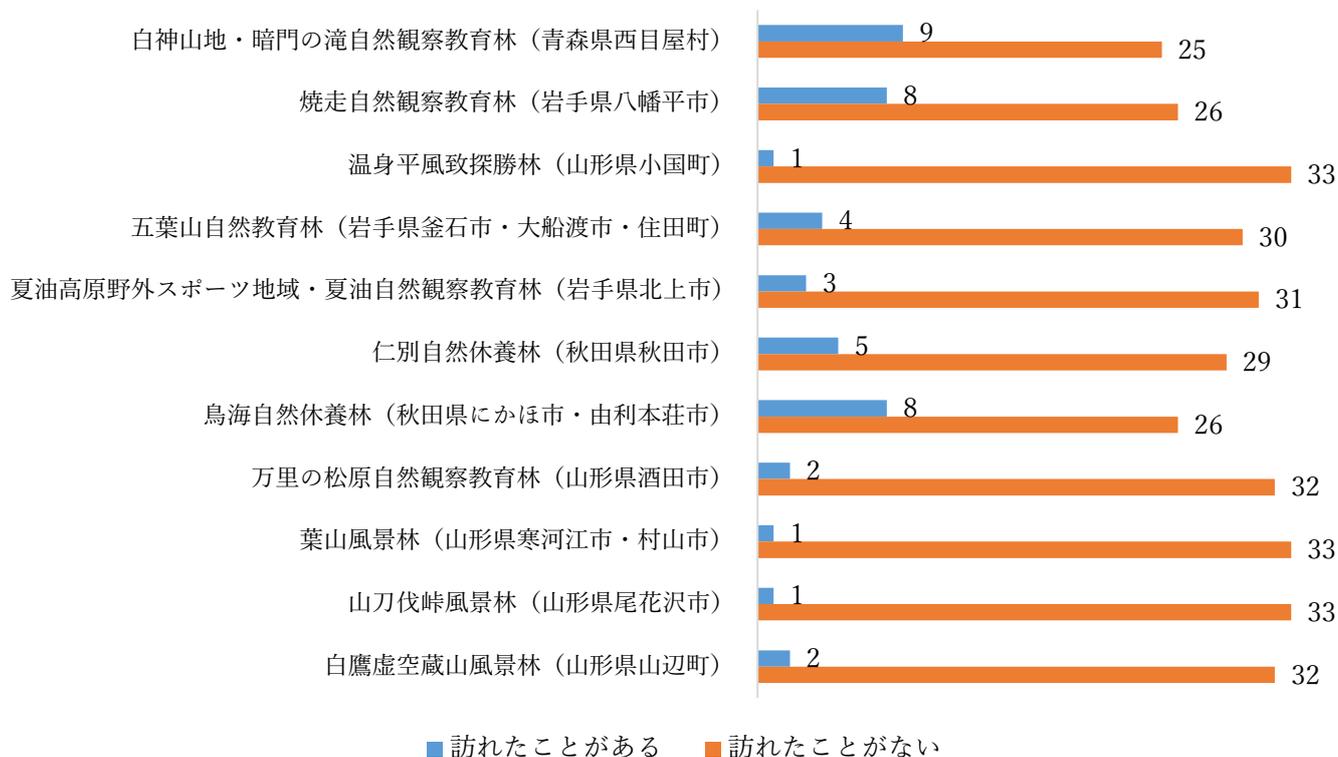
- ・インターネットで検索がヒットしやすいようにし、表現は専門用語ではなく一般的に使われている名称、言い方にするなど、素人が見て読みやすく理解しやすいようにしてほしい。
- ・レクリエーションの森を目当てに、交流人口、関係人口を増やし、東北ファンになってもらうための協議会を作る。
- ・こんな場所があり、こんなことが出来ると多方面に周知すること。

(2)「レクリエーションの森」のうち、特に魅力的な自然景観を有する等の理由により、東北森林管理局管内では11箇所が「日本美しい森、お薦め国有林」として選定されています。

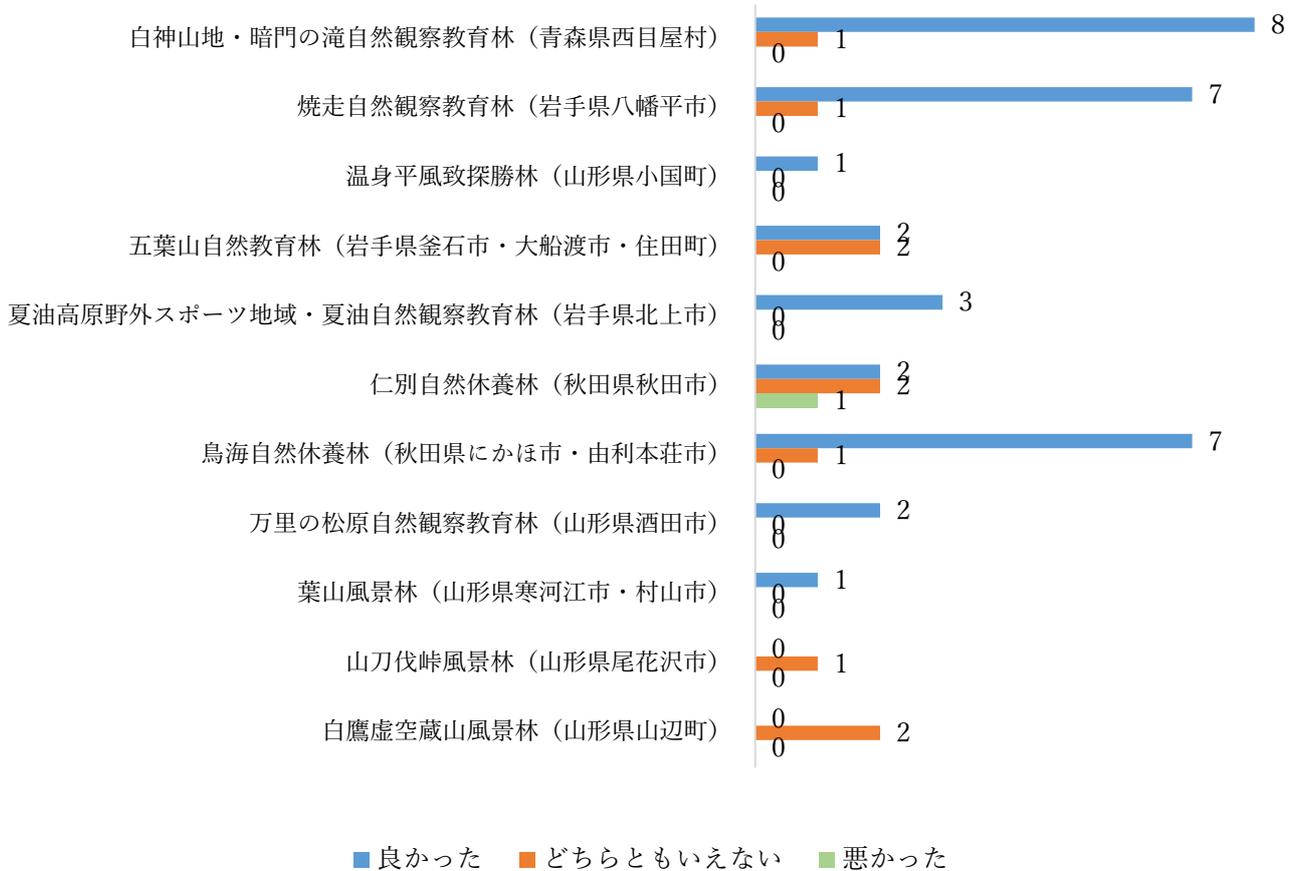
①「日本美しい森、お薦め国有林」を知っていましたか。



②訪れたことがありますか。



③実際に訪れた印象。



（3）訪れたことがある箇所の感想。

【感想】

白神山地・暗門の滝自然観察教育林（青森県西目屋村）

- ・ぶなが素晴らしいこと、湧き水がとても美味しかったことが強く印象に残っている。湧き水は今まで飲んだ水のなかで一番美味しかった。
- ・よく遊びに行くが、思ったよりも人が多いと思った。40年位前は人もそんなにおらず、こんな奥まで来ないのだと思っていた。近年は賑やかになった印象。
- ・手つかずの大自然が圧倒的だった。また行きたい。
- ・家族で楽しめる公園でよかった。

焼走自然観察教育林（岩手県八幡平市）

- ・溶岩流が珍しく景色が壮大で自然のすごさを感じた。
- ・紅葉がとても美しかった。
- ・職場のトレッキングで行っている。あまりきつなく歩きやすいため、行きたい場所としてリクエストが多く、時期を変えながらのトレッキングを企画中。
- ・案内表示もわかりやすく、途中の説明の看板も見やすかった。岩手山の成り立ちがよくわかった。

温身平風致探勝林（山形県小国町）

- ・感想なし

五葉山自然教育林（岩手県釜石市・大船渡市・住田町）

- ・登山道が歩きやすく分かりやすく、とても整備されきれいだった。
- ・三陸沿岸の山としては登山もしやすく、アクセスもよく、山頂に水が湧いていて水飲み場もあり、360°の景観がすばらしい。太平洋も天気良ければぼっちり見える。山頂の原生林は一見の価値あり。
- ・家から毎日見ることができ、高校生の時に学年のキャンプで訪れた。当時は特に何とも思わなかった。

夏油高原野外スポーツ地域・夏油自然観察教育林（岩手県北上市）

- ・かつてはスキーシーズンにしか夏油に行かなかったが、今は夏や秋に行くことが増えた。広葉樹が多く、木々の美しい景観が印象深い。
- ・自然豊かで空気のキレイな場所だった。もっと沢山の人が訪れるような景観になると良いなと感じた。

仁別自然休養林（秋田県秋田市）

- ・景色、空気とても良いと感じる。子供達も多く訪れていて、キャンプ場、プールエリア等充実しているが、クマの出没によりあまり行けなくなった。半世紀経過しているので、色々劣化しているところも見受けられる。
- ・カモシカ撮影でよく行った。最近は人気がなく整備されてない箇所が多い。
- ・交通アクセスが大変。道幅が狭い。

鳥海自然休養林（秋田県にかほ市・由利本荘市）

- ・だいぶ前に登山しただけなので記憶があいまいだが、山頂からの雲海が眼下に広がる光景は目に焼き付いている。
- ・あがりこ大王がとても綺麗だった。遊歩道が整備されていて、とても歩きやすかった。
- ・案内の表示もしっかりしており、歩きやすかった。熊対策のため、途中休憩のベンチでおやつを食べようとしていた子どもに、ここでは食べないとレンジャーの方が諭してくれていた。
- ・ドライブにちょうど良い距離で良かった。訪れたのが昔なのであまり覚えていないが、悪い印象はない。

万里の松原自然観察教育林（山形県酒田市）

- ・地元で、高校時代にランニングコースとして利用していた。とても清々しく過ごせたのを思い出す。

葉山風景林（山形県寒河江市・村山市）

- ・感想なし

山刀伐峠風景林（山形県尾花沢市）

- ・感想なし

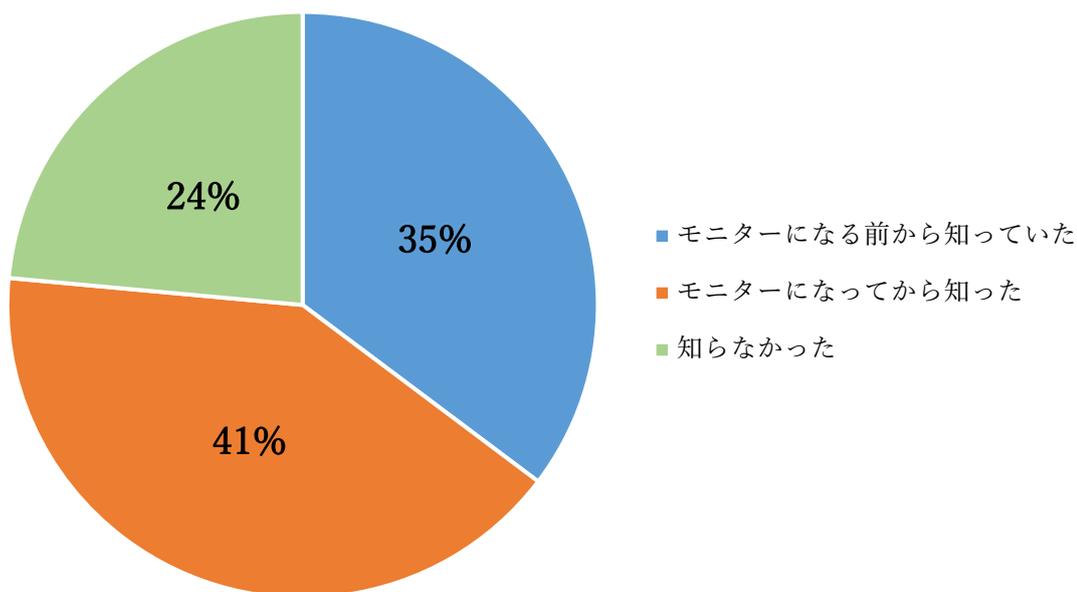
白鷹虚空蔵山風景林（山形県山辺町）

- ・感想なし

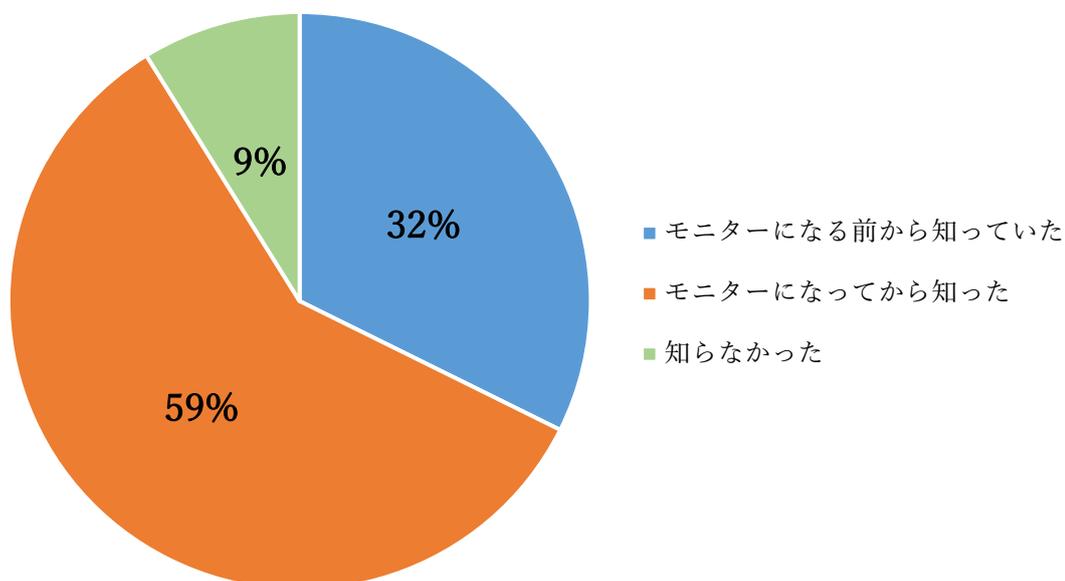
3 森林の保護について

(1) 世界自然遺産とは、世界遺産条約で顕著な普遍的価値を有すると認められた自然のことで、人類共通の財産として保護し、後世に伝えていくため世界遺産リストに登録されたものであり、東北では「白神山地」が世界自然遺産に登録されています。

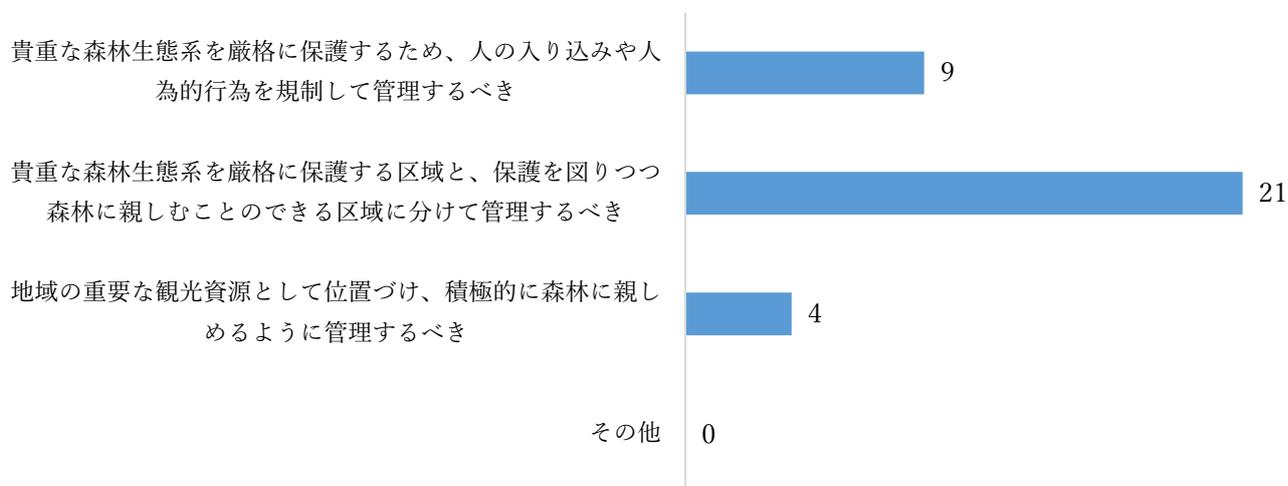
日本では「白神山地」を含め、「知床」「小笠原諸島」「屋久島」「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の5地域が世界自然遺産に登録されていますが、その陸域面積の大部分が国有林であることを知っていましたか。



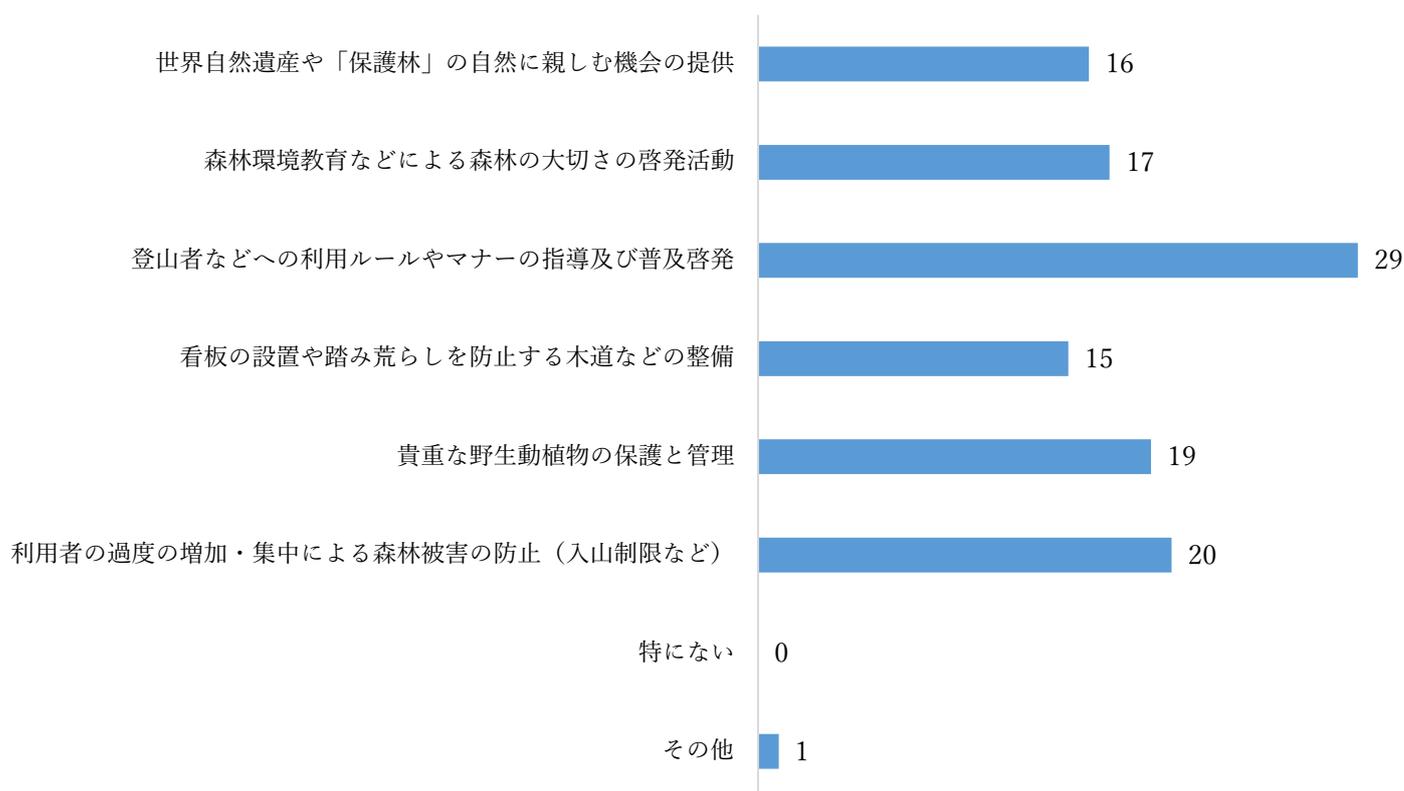
(2) 東北森林管理局では、国有林内の原生的な天然林などを「保護林」に指定し、貴重な森林の保護・管理に努めています。「保護林」について知っていましたか。



(3) 世界自然遺産「白神山地」内の国有林や「保護林」については、どのような考え方で管理していくべきだと思いますか。



(4) 世界自然遺産や「保護林」を管理するにあたって、東北森林管理局や森林管理署にどのような役割を期待しますか。(複数回答)

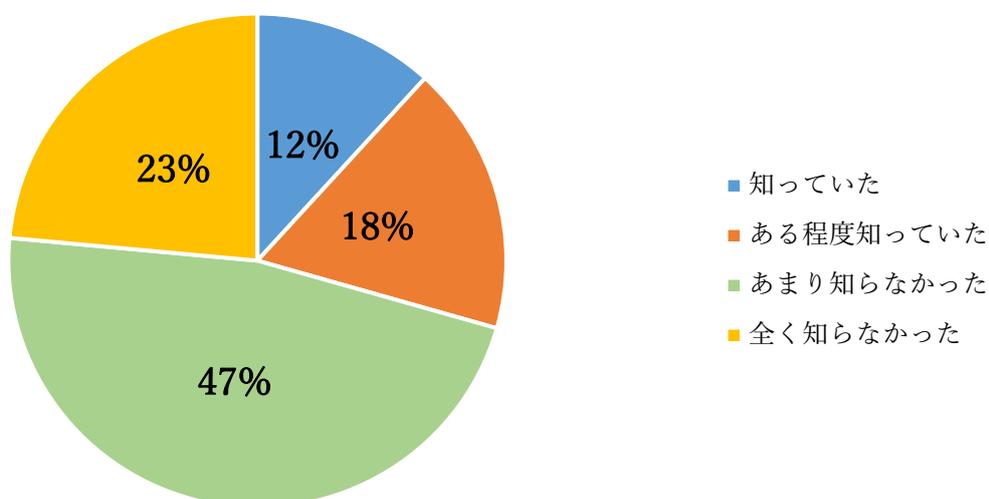


【その他】

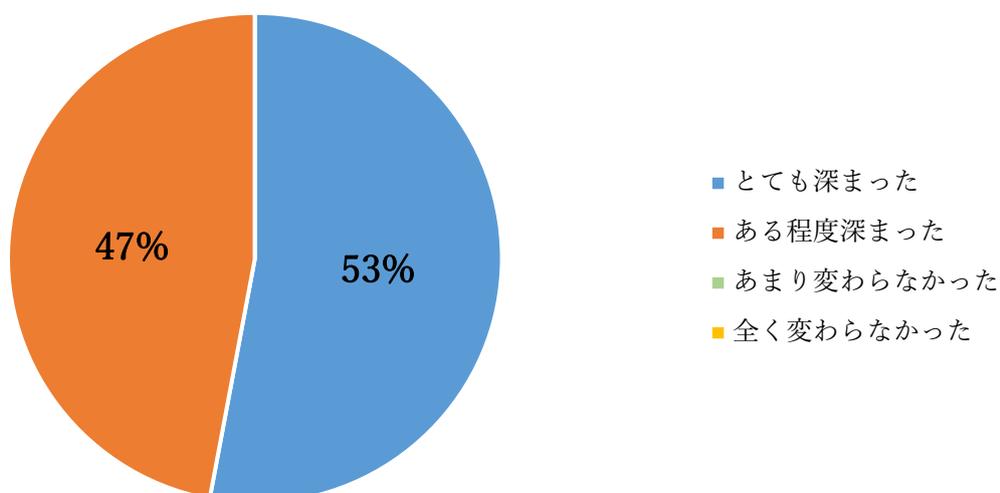
- ・保護林の整備、林道の整備など人の手を加えて管理していく。

4 国有林モニターについて

(1) 国有林モニターになる前から、国有林の取組について知っていましたか。



(2) 国有林モニターになる前と比較し、国有林の取組に対する理解は深まりましたか。



【理解が深まったと回答した理由】

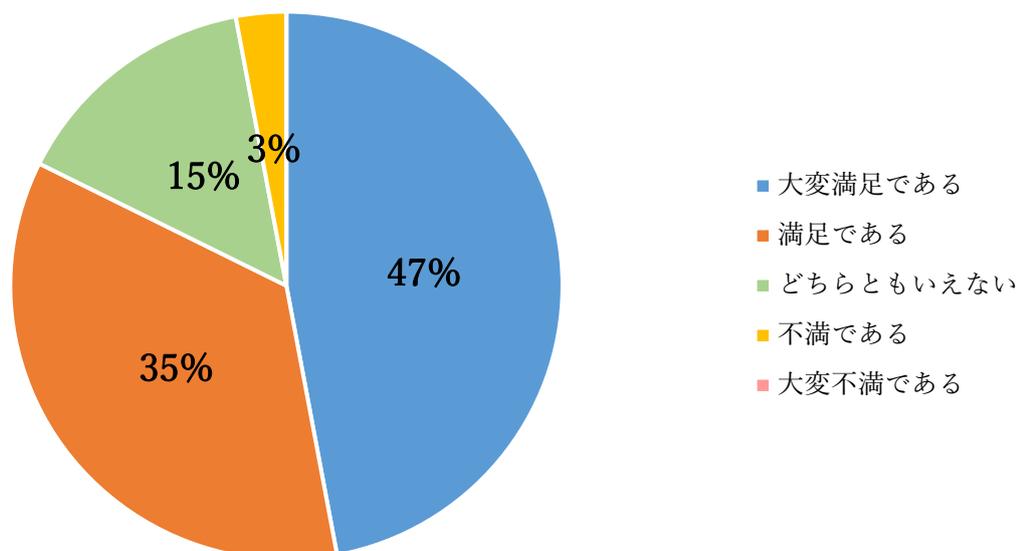
- ・ 知らなかったことを知れて楽しかったが、まだ知らないことがありそう。
- ・ 国有林が管理された貴重な財産であることがこれまでの資料から伝わってきた。
- ・ 森林は身近なはずなのに、子供の頃からの教育的なものがなかったと思う。誰がどう管理しているのかも知らず、モニターになっても2年じゃ足りないが、その後何ができるのかどう応援できるか知りたい。
- ・ 森林保護のために様々な取り組みをしていることがよくわかった。出前講座も実施してほしい。
- ・ 知らなかった事を知れた。現地で、国有林の役割や課題を体感できた。

- ・ 国有林はただ植えばなしと思っていたので、手入れや、伐採、販売、保護、治山などいろいろな活動が行われていて毎回興味深かった。
- ・ 国有林の管理、循環利用、林地保全、森林づくり、花粉症対策、病虫害対策、シカやクマ対策、森林自然の保護、住民との協同、治山対策、災害対策、新しい林業への取組、木材の供給と活用、森林サービス産業など、多岐に渡る施策が行われていることを知り、現状への対策だけでなく、未来を見据えた取組がされていることが理解できた。
- ・ 山形の現地見学会でアオモリトドマツの「集団枯死」を食い止めるため、国からの依頼で必死に活動している話を聞いたおかげで、山の現状、依頼、取組という流れに対する理解が深まった等の変化があった。
- ・ モニターになる前までは「国有林」という言葉も知らず、取組も知らなかった。現地見学会や毎月送付される広報を見て、少しばかりだが林野庁や国有林について知り得たのは良かった。
- ・ モニターになるまで、あまり国の事業を知る機会がなく、木材の生産、治山、観光資源としての保護、スギ花粉対策 etc... 仕事が多岐にわたること、森林に親しむ事業も様々開催していることなど、具体的に知ることができた。
- ・ 木材生産だけやっている様なイメージだったが、森林の多角的な役割を活かす仕事を担っていることが良く分かった。
- ・ ある程度は知っていたが、具体的な活動内容は知らなかった。今回の活動で大変勉強になった。少しでも自分が関わった活動が、これからの森林保護に役立てば、一役を担えた気がする。
- ・ 各都道府県での独自の保護の取組等の情報を知ることが出来、尽力しているのを感じた。と同時に、その自然の恩恵が、現在は守らなければ限界が生じる時代になっている現実を知り、改めて、一人一人の生活環境の見直し、改善が保護に結びつくのではとも考えさせられた。
- ・ まだまだ知らない国有林の情報がたくさんあり、情報発信されることによって初めて知る事ばかりだった。
- ・ 今までほとんど知らなかったが、資料を見たりすることでどのようなことをやっているのか知ることが出来た。森林、山に接することがないと「国有林」という言葉に触れずに生活している気がした。
- ・ モニターになってから身の回りの自然を注意して見たり、調べたり、メモに取ったりと関心が深まった。
- ・ 国有林は人間の命と生活に密着していると知った。
- ・ いろいろと情報提供してもらい、森林管理局のHPを見るようになった。
- ・ 国有林の実態をもらった資料を使って発表する機会があった。発表となるとある程度知らないといけないため、勉強した。
- ・ もらった「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」という冊子が勉強になった。

(3) 国有林の取組に対するご要望・ご意見

- ・登山口までの林道が通れないため、登山者が寄りつかなくなってしまう山もあるので、林道の整備を実施して欲しい。
- ・蔵王のオオシラビソ枯死問題など、国の資源の課題をもっと国民全体が知る機会があれば良いと思った。認知されれば新しいアイデアが生まれたりするので。
- ・予算の仕組みさえできてしまえば、地域のプレイヤーを活用した森林整備が可能になるかと思うので、里山整備について今後もアンテナを高く張り、私自身も1人のプレイヤーとして国有林の保全に関わって行きたいと思う。
- ・シカ対策について、捕獲数が年々増加し、処理対応が大変になってきていると思う。食害や枯死が土石流にもつながり、国有林野の維持・保全に支障が出てきているが、捕獲が繁殖数に追い付いていない。保護林管理委員会がモニタリング調査をしているようだが、もっと強化しないと、シカは増える一方だと思う。岩手県沿岸部では市街地に複数頭が平気で出没し、人がいても逃げもせず道路横断したりしている。クマも大変だが、シカ対策は急ぐべきだと思う。
- ・木の文化を支える森に漆の採取を目的とした場所を追加すべきだと思う。
- ・実際に国有林の現場で働いている人のリアルな話を聞いてみたかった。
- ・今回モニターになっていなかったら、国有林は知らない世界だったと思う。これは一般の方々においても同じではないかと考える。市町村の広報誌に積極的にアピールや情報を載せてもらい、1人でも多くの人に知ってもらったり、木育を題材に無料で参加出来るイベントを多くやるなど、木に対して興味を持ってもらうきっかけを作るのも効果があるのではないかと。
- ・気楽なアプリなどあれば、なんとなくいいかなと思う。
- ・生態保全や林業従事者の確保等難しい問題もあるが、再生産可能な持続的な国産木材資源の利用が続いていくように頑張ってもらいたい。
- ・人材確保が難しい状況での国有林の維持管理は大変な事だと感じる。予算を増やして機械等を購入、利用し、安全安心な林業を推進して欲しいと思う。
国有林以外の林野も各自治体などで整備して欲しい。クマが出没していることもあるので、慎重かつ専門家の意見も聞きつつ、進んで行って欲しい。
- ・国有林モニターはいい制度だと思う。
- ・何代にも渡る取り組みだが、後継者育成が課題かと。
- ・自分から知ろうとしないと情報が入ってこない事が多い。今まで興味もなかったたくさんの人にも、国有林について身近に感じられる活動が広がっていけば良いと思う。
- ・広めることはとても難しいと思うが、国民に森林の大切さが伝わるような取組がされると良い。
- ・今後も手の行き届いた森林整備を頑張ってもらいたい。

(4) 2年間を振り返って、国有林モニター活動はいかがでしたか。



(5) 現地見学会と会議への参加、国有林モニターアンケート以外に、国有林モニターとしてやってみたかった活動や、モニター活動の改善点について教えてください。

- ・現地見学会の回数をもう何回か増やしても良いと思う。毎回参加できない人もいるし、森林管理署管区ごととは言わないまでも、各県で実施程度に。
- ・国有林のため、一部をオーナーとして所有することは叶わないと思うが、森林を育てる体験をしてみたかったなと思った。
- ・モニター同士の交流がもっとあればと思った。冬（会議）はwebなども活用すれば良いかと。
- ・間伐材を使った創作活動やSNS等を活用した情報発信にも興味がある。
- ・モニター見学会等の開催日は月初と月末は避けたほうが休みを取りやすい。会議は降雪量が毎年多い時期のため断念した。12月か2月開催だったら。
- ・職員に負担のない、現地見学会のような他の取り組み。現地見学会は3回とも参加し非常に有意義だった。他の県の山にも行ってみたいと思ったが、現地見学会を増やすのは職員の負担が大きいと思うので。
- ・年間の見学スケジュールと見学会を実施する季節の分散を行って欲しい。
- ・旅費の支給手続きについて、運賃や宿泊費を立替払いして参加し、支給日まで数万円を負担していることになるため、立替をしないようにできれば良いと思う。また、旅費の支給ももう少し早い手続きであればありがたい。
- ・去年10月に、宮城県で大規模な育樹祭があった。東北森林管理局で国有林のPR活動等していたら、モニター有志で何かお手伝いをしたかったと思う。
- ・現地見学会に参加したかった。大学の実習と被ることが多かったので、時期をずらして開催して欲しい。

- ・ 国有林への知識を深めるイベント等があればモニターも一緒に参加してみてもいい。
- ・ 現地に行くことができる見学会は有意義なものだった。見聞を広めるという意味で、今回会議で折角遥々秋田まで来る機会があったので、白神山地など見てみたかった。
- ・ 現地見学会をもう少し多くしてもいいかと思った。併せて、現地見学会前に全体会議をして「国有林」「林野庁」について説明して、今後の活動や参加者をお願いしたい事などを提示し、任期最後に考え等を発表する形にしたらいいかんと思う。さらに、国有林等に知見ある方と全く知識のない方をうまくモニターにした方が、いろいろ考えを得られるのではないかと思った。
- ・ 記念写真があれば、思い出になるのでは。
- ・ 実際に木の世話をして生産（伐採）している現場を見てみたかった。管理局の日常の森林での作業の実際についても知れば良かった。
- ・ 林野庁などの中央の行政機関からの、これからの森林環境などへの基本的な方針を聞くことはwebなどでも可能だったのではと思う。
- ・ 見学会・会議に参加出来ず、とても残念だった。またモニターに関わる事があつたら参加したい。気になる森林等、写真に撮って送るなど、何か協力できる事があつたら、活動できるようになれたらいいと思う。
- ・ 機関誌で紹介されている場所に赴いてみたかった。
- ・ 観光地巡りに終わらないよう、国有林の今日的意味とこれからの方向性について短い時間で良いから事前レクチャーがあれば。あと、国有林と民有林の地図上での位置。
- ・ 各県ごとに集まったの支部会のようなことがあれば良かったと思う。遠方の見学会も良いが、地元のことをもっと知れたら、他の地域の情報や取り組みの見え方、受け取り方も違ってくるのではないかと思う。
- ・ 実際の山の管理作業、植樹、下刈り、つる切りなどしてみたかった。

(6) 国有林モニターになって良かったと思うことを教えてください。

- ・ 木に関する知識や今実施している業務のことを色々説明してもらえたこと、普段立ち入りできないところも見せてもらったこと。
- ・ 私は医療従事者として日々生活しており、森林と関わる機会がなかったため、国有林モニターを通してこのような世界があるのだと知ることができた。多忙につき現地見学会には一度も参加することができなかったが、モニター会議に参加し、意識の高いモニターの方々がいることも知ることができた。微力ながら、森林に関わる意識を持って生活していきたいと思う。
- ・ 大変勉強になった。機会があつたら、また参加したい。貴重な体験だった。
- ・ 国有林について何も知らずに参加したので、毎回驚きや発見があり楽しかった。他モニターの質問を聞くことで、より興味が広がったり知識が深まった。スタッフに気軽に質問出来る雰囲気がとてもよかった。

- ・ 知らなかった情報がたくさんあった事。
- ・ 先日ニュースで秋田の民間企業がエリートツリーの大量生産に向けた取組を見て、自分が現地（山形）で花粉の少ないスギがもっと増えればいいなと思ったことが、少しずつ現実になってきたとうれしく思えたこと。
- ・ モニターにならなければ確実に知り得なかった知識や見聞を深められた。
- ・ 東北の国有林が県土の3割を占めることを初めて知り、植林、森林整備、木材供給などの地域振興が行われ、「伐って・使って・植えて・育てる」というサイクルでの循環利用の推進がされていることはすばらしいと思った。
青森ヒバの品質の良さ、製材工場での製材機のコンピューター管理、蔵王オオシラビソの枯損の衝撃、カードゲーム ZORING の面白さなど、実際に現地に行って、見て、体験して初めて理解できたので、とても有意義だった。
東北に住んでいても知らないでいた場所や文化がまだまだあるなと思った。
- ・ 国主体で行われる事業に少しでも関わることができ、大変誇らしく思った。私は私有林、共有林を持つが、特に荒れ果てた私有林を見ると暗くなるが、初めて訪れた青森の現地見学会で、整備された山をみんなで見て回ったとき、きれいな森林をみんなで歩く楽しさを知った。
- ・ 毎月送られてくる冊子に国有林野で行われている具体の取組が紹介されていて、とても勉強になり良かった。
- ・ 山林の問題(オオシラビソなどの立ち枯れ)や取り組み(エリートツリーの育成)を実際に見られたこと。
- ・ 1番は、最初に参加した青森県で見た「青森ヒバ」。見た時の幻想的な風景と木の形などに心打たれた記憶がある。また、案内の職員にも知らなかった事を丁寧に説明してもらい改めて感謝。
- ・ 現地見学会は、モニターにならなければ行くことができないような場所に行き、直接職員から説明をしてもらい、すごいことだなと毎回感動ものだった。
- ・ いろいろな資料や現地見学会の機会で、最新の林野庁の仕事について、よく理解することができた。
- ・ 東北各県からの、またいろいろな立場からの意見は大変参考になった。
- ・ 身近なところから、旅先などでも森林、山など注意して見るようになった。知り合いなどにも自分が学んだこと（広報誌などで）を話題にして、皆も関心を持ってきた。職場にみどりの広報等置いているが見ているようで、話題に上っている。自分の知識が広がっていくのがとても嬉しく感じる。
- ・ やはり知らない世界を見れることは素晴らしい。もう目に焼き付けている。これからはHPの「ここが見所」の中から探しながらクマに注意しつつ行ってみたい。
- ・ 森林の管理に日々奮闘している方々の様子を少しだが知ることができた。
- ・ 改めて東北の山々の恵みを享受できた。
- ・ 森林について専門的なことが少し分かるようになった。以前よりも森林・山に関する話題を気にかけるようになり、興味を持つようになった。

- ・実際に現地を観れたことで、問題点や改善点がみえてきた。
- ・自然保護に関わる方々の尽力を知った。日本国土を守るため、国民の意識向上にも努力し、各イベント等工夫をこらしていることも学べた。

(7) 国有林モニター終了後、国有林、森林・林業、木材利用等とどのように関わっていきたいですか。

- ・森林の中にいるだけで楽しいので、今後もトレッキング等でお世話になっていくと思う。その延長上として、森林の楽しさ、大切さを周知していけたら良い。木材利用に関して、今まで国産かどうかを気にしたことはなかったが、気にしてみたいと思う。
- ・青森市にある森林博物館に行ってみたり、木材に触れることのできる機会を見つけたり、アンテナを高くして生活していこうと思った。
- ・薪を十分に確保するためのルートを調べたいと思う。また、木製加工品は高価ではあるが、木製の名刺入れを探している。プレゼントで自分の隠していたひのきの名刺入れをあげて、そのうちまた手に入るだろうと思っていたら、なかなか探せなかった。夢はログハウス（ツリーハウス）を建てること。その為に山を買いたい。小川が流れている所。そこに縄文風の村を作りたい。岩木川のほとりに住んでいた縄文人のように生活してみたい。同じ夢持っている人いないだろうか。
- ・レクリエーションの森を制覇したい。楽しみが増えた。行ったら説明などの看板や関連するニュースは興味を持って見るようになると思う。そして問題があれば、どうすればいいか考え、知り合いにそのことを伝えたいと思う。
- ・山に登るだけではなく、木に感謝しながら歩きたいと思う。地域の林業に関するニュースや情報等に耳を傾けていきたい。
- ・畑わさび農家なので、林間で栽培する特産物であることから、森林もわさびも大切にしていきたい。
- ・「国有林野の森林フィールド」での整備事業があれば参加してみたい。
「レクリエーションの森」での参加イベントなどがあれば参加したい。
不法投棄クリーン活動に参加したい。
登山・ウォーキングが好きなので、「森呼吸ができるお手軽健康ウォーキング book」で紹介されている散策スポットを歩いてみたい。
- ・モニター活動のおかげで、アンテナの感度が上がり、自分から森林に関する情報を取りに行くようになった。東京都の森林ボランティアに参加し、今後情報交換をして人の往来につなげたい。それから、いろいろ調べた上で自伐型林業をやってくれる方を地域で受け入れ、みんなで盛り上げていきたいと思う。
- ・モニター期間中に残念な事に地元大船渡市で大規模林野火災が発生し、所有の山林も被災した。被災したほとんどの林野は個人所有だが、是非今後の復旧・復興、被災した材木の利用法等について注視して取り上げてもらいたい。消化活動に尽力された皆様には心より感謝を。

- ・森林の一利用者として日本美しの森お薦め国有林などに足を運び、日本の森林の美しさに触れていきたいと思った。また森林に足を運べずとも、普段の生活の中で木材を使う生活を心がけ、木材利用の重要性を噛み締めながら生きていきたい。
- ・これからますます公的な力を使わないと、森林資源は守ることが難しいと考える。限りある予算を何に使うか、結果は直ぐに出るものではないので難しいと思うが、実務、人材育成(次世代含)など有効に使ってほしい。自分ができることとしては、青森ヒバを活用してみたい。
- ・森林体験、登山、トレイルランニングなどに参加していく。
- ・この度のモニターで得た知識を踏まえ、子育ての中でも「木」に対しての情報やイベントなどに進んで参加していきたいと思う。普段の生活の中では、なかなか情報発信等は難しいところではあるが、何かの折には、今回の経験と知り得た情報を多くの方に発信していきたいと思う。
- ・職場でトレッキングや森林に関する講座などを企画していきたい。
- ・近くのイベントへの参加や、青森ヒバについて展示会等でPRしたい。
- ・まずはリクレーションの森や自然休養林を訪ずれてみたいと思う。また、青森ヒバが持続的に生産されていることを知り、家のDIYリフォームに使用してみた。
- ・近くが森林で自然が豊かで、でも手入れされておらず、被害が出たりしていた。自治体の活動に携わる事になり、倒木や伸びた枝等、役員の方々に相談し、行政に入ってもらい、整備することが出来た。その際に広報誌やパンフレット、ホームページ等の情報を活用させてもらい、自分が見聞きした事を説明し役立ててもらった。とても嬉しかった。モニターに携わりとても良かったと思った。これまでの広報誌、資料全て保存してあり、その都度、必要な時、参考にして景観の美化などに活用している。広報誌等は役員の方々も見て、関心を持ってくれたので、年度初めから色々活動する予定。
- ・趣味のトレッキングを通して、登山道や林野の整備に携わっている方たちに感謝しつつ、ボランティアにも参加してみようと考えている。
- ・できるなら、森林インストラクターとして国有林の中に入り、自分だけでなくより多くの市民と歩きたい。
- ・資源としての木材の価値を見つめ直し、木製品を積極的に購入、活用したい。
- ・木を使ったもの、できれば国産・地元産のものを取り入れて生活したいと思うし、建物に使われている木をよく観察してみたいと思う。国有林・林業に関するニュースにもっと触れてみようと思う。
- ・自分から国有林についての知識、情報を取り入れ、今後も個人的に継続できたらと思う。
- ・広くみんなに、国有林について啓蒙しつつ日本の7割を占める山林の大切さを伝えていきたい。
- ・先ずは自身の生活、生き方の見直し。自分自身も、自然界のひとつなんだということ踏まえ、森林とふれあい、動植物に感謝の念を持っていきたいと思う。